

武内和久新市長に問う

総括的な質疑に山内議員

会派を代表する質疑には、山内議員が立ちます。議案に対する一般質問は藤沢、大石、高橋、出口、伊藤の5市議が行います。荒川団長、永井議員は、6月議会で質問に立つことになりました。

皆さんの声を届けて質問します



山内涼成 議員

山内涼成 議員（会派質疑、60分）

- 新市長の政治姿勢について
- 暫定予算について



大石正信 議員

大石正信 議員（一般質問、30分）

- 非正規職員の処遇改善について
- 学校給食の無償化、異物混入について



出口成信 議員

出口成信 議員（一般質問、30分）

- 市営住宅の有効活用について
- 省エネルギー助成事業について



藤沢加代 議員

藤沢加代 議員（一般質問、60分）

- 築城基地の「米軍基地化」について
- 埋蔵文化財センターの移転計画撤回を
- 公共交通の課題と高齢者福祉乗車券の助成を



高橋都 議員

高橋都 議員（一般質問、30分）

- 物価高騰対策について
- 「税務相談停止命令制度撤回」について
- 「消費税、インボイス制度」について



伊藤淳一 議員

伊藤淳一 議員（一般質問、30分）

- コロナ対策について

16年ぶりに市長交代となった市長選の結果、武内和久氏が当選しました。このため3月議会は暫定予算議会となり、会期は15日間と通常より短くなります。武内新市長への初の論戦となり、市政に対する基本的な政治姿勢が問われることとなります。

武内氏は市長選で、①第2子以降の保育料の完全無料化②病児保育の利用料完全無償化③学校給食の質の向上などを公約。基本政策でも、ヤングケアラー支援、ジェンダー格差の是正などを掲げました。

市議団はこうした公約の実現を迫るとともに、「市民の会」が掲げた学校給食無償化、高齢者福祉乗車券の実現を求めていきます。

同時に岸田政権が進める大軍拡・増税にまったく触れなかった武内氏の政治姿勢をただすとともに「国いいなり」ではない、市民に顔を向けた市政実現に力を尽くします。

3月議会日程

- ◆本会議（開会）・議会運営委員会 3月9日(木)
- ◆本会議・議会運営委員会 10日(金)
- ◆本会議（質疑・一般質問） 13日(月)
- ◆本会議（一般質問） 14日(火)
 - ※請願・陳情締切
- ◆本会議（一般質問） 15日(水)
- ◆本会議（一般質問） 16日(木)
- ◆常任委員会 17日(金)
- ◆常任委員会 20日(月)
- ◆常任委員会・議会運営委員会 22日(水)
- ◆本会議（閉会） 23日(木)

※請願・陳情の締め切りは3月14日(金)です

旧統一教会に関する決議について



インタビューに答える荒川団長と山内議員

昨年12月、北九州市議会が「反社会的な旧統一教会に関与しない」ことを全会一致で決議したことについて、男性信者が信教の自由や請願権を侵害されたとして、決議の取り消しなどを求め福岡地裁に提訴しました（2月20日）。

提訴前にテレビ朝日系列の取材に応じた市議団の荒川団長らは、請願の紹介議員を引き受けないことについて、「請願に賛成することが紹介議員になるルール。関与しない決議をあげたのだから、賛成できないのは当然」と語りました。鷹木議長もテレビ取材に「市議会の意見が変わることはない」と答えています。

FOR ONE MILLION SMILES

100万人の笑顔のために

市議会ニュース

2023.3.5

No. 575

発行 日本共産党北九州市議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

ホームページアドレス⇒ 日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



市民の願い 実現に全力

北九州市長選では、学校給食をめぐる「無償化」、「品質向上」が大きなテーマとして取り上げられました。

また、非核平和都市宣言をおこない、「平和のまちミュージアム」を建設してきた北九州市にとって、岸田内閣が進める大軍拡・増税は、市民の平和・暮らしに直結する問題として、今後の市政運営の大きな焦点となっていきます。

ロシアによるウクライナ侵略から1年を迎えました。世界と日本は「戦争か、平和か」の歴史的岐路に立たされています。そうした中で岸田政権は、国会での審議もなく「安保3文書」を閣議決定し、大軍拡・増税を進めています。物価高騰の中、「市民のいのち、暮らし、平和」がさらに圧迫されていくのは目に見えています。

大軍拡、増税ストップ

ロシアによるウクライナ侵略から1年を迎えました。世界と日本は「戦争か、平和か」の歴史的岐路に立たされています。そうした中で岸田政権は、国会での審議もなく「安保3文書」を閣議決定し、大軍拡・増税を進めています。物価高騰の中、「市民のいのち、暮らし、平和」がさらに圧迫されていくのは目に見えています。

2023年度から5年間の
軍事費総額を
43兆円
(現在の約2倍)
にしようとする政府。



軍拡・増税、悪政に「まった！」

こうした悪政に、自治体がしつかりモノを言うのかどうか、問われます。しかし、市長選挙を通じて、武内氏は一度も「大軍拡・増税」について触れていません。北九州市議団は、大軍拡・増税ストップの声を上げるとともに、武内市政の姿勢をたたえ、大軍拡・増税反対の先頭に立つよう求めています。

永井佑 議員



ぜひご協力を

日本共産党北九州市会議員団

低用量ピル ってご存じですか？

日本共産党は、リプロダクティブ・ヘルス&ライツ（性と生殖に関する健康と権利）を守り、生理による不安の声と対策を議会に届け、ジェンダー平等社会の実現を目指しています。

Webアンケートご協力をお願い
(匿名回答可:約2分)

子育て支援「3つのゼロ」 実現に全力

タクシーにも使える

高齢者福祉乗車券、補聴器助成実現を

市議団は永田候補が市長選で掲げた「子育て支援3つのゼロ」(学校給食費、子どもの医療費、子どもの国保料)の実現に向け、

全力で取り組みます。

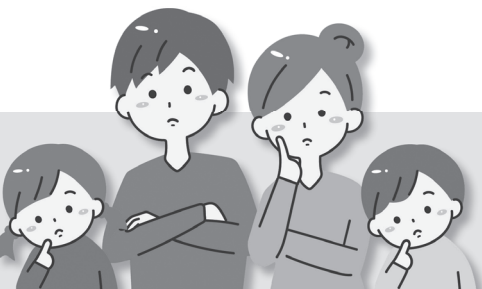
- 学校給食費
- 子どもの医療費
- 子どもの国保料



学校給食費の無償化の動きは、全国で254自治体(小・中学校とも無償化)に広がり、新たな実施自治体も増えています。東京23区では、昨年の葛飾区の無償化実施表明を受けて、世田谷区、北区、中央区、台東区、品川区、荒川区、足立区(中学校のみ)に拡大。同じ政令市の大阪市では、コロナ対策として3年間実施してきた小中学校の給食無償化を、期限を切らずに実施する方針を明らかにしています。

子ども医療費の無料化では、東京都が医療費助成の対象を中学生から高校生までに拡大(ただし所得制限と通院1回につき200円の自己負担)。群馬県では、子ども医療費の無料化について高校3年生まで拡充する方針を知事が1月に表明しています。補聴器購入助成についても、すでに120自治体に広がり、新潟県では30自治体中、26自治体で実施しています。政令市では、新潟市、相模原市が昨年7月に導入しています。北九州市でもできないことはありません。

武内市長の基本政策 check



武内新市長が市民に約束した「基本政策」などをチェックしてみると…

■「聖域なき行政改革」というが…

「行政コストの削減」「民間目線で見直し」を強調する武内氏。しかし、市民が求めているのは市民サービスの充実です。ワーキングプアが問題となっている会計年度任用職員の処遇改善も待たなし。7つあった保健所が1つになって、どれだけコロナに苦しんだか。保健所増設と機能拡充はこの間の教訓です。

■「子育てしたくなる環境づくり」のためには

子育てサポート施設(産前産後ケア・病児保育)の増設、保育料の第2子以降の完全無償化、学校給食の品質向上などを掲げた武内氏。一日も早く、その実現を求めます。

学校給食については、各地で無償化が広がっています。品質向上だけでなく、無償化に踏み切ることが「子育てしたくなる環境」です。

■「高齢化・多様化でも安心・安定な生活」は?

高齢者の在宅生活サポート、ジェンダー格差の是正、ヤングケアラー支援なども、基本政策として掲げています。

高齢化が進む北九州市において、タクシーにも使える高齢者福祉乗車券、補聴器への助成制度の創設は市民の切実な声です。市幹部への女性登用の拡充も「ジェンダー格差の是正」につながります。

■「期待感あふれるまちづくり」、産業政策は

市長は産業政策の中心を、グローバル産業の誘致・強化としています。しかし市内企業の9割は中小企業。従業員の7割が働いている場所でもありません。洋上風力はじめ、再生可能エネルギーの普及、地域経済活性化のためには、グローバル産業の育成・誘致だけでは解決できません。地域経済を支える中小企業育成こそ、市の役割です。

■大軍拡・増税問題になぜ触れない!

武内氏の最大の問題は、大軍拡・増税問題に一言も触れないことです。閣議決定した「安全保障3文書」は戦後の歴代内閣が建前としてきた「専守防衛」を根底から覆すものです。「敵基地攻撃能力」保有のため、5年間で43兆円もの空前の大軍拡が計画されています。

国にモノ言わぬ市政では、平和も市民の暮らしも守れません。